

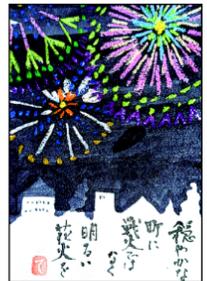
新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

- 2面 ニュース/原発処理水、放出中止を求める
- 3面 読者/まんが/短歌
- 4・5面 「異次元少子化対策」の異常さ/ホットライン/ジェンダー
- 6面 手づくりスマホケース/母の歴史
- 7面 北海道本部 文科省に緊急要請/主張/学ぶ



新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

老人ホームに 班をつくりたい

沖縄・那覇支部 神山幸子(79)

私は新婦人に入って57年、いま老人ホームに入所しています。「新婦人しんぶん」と「新婦人おきなわ」が届くのが何よりの楽しみです。最近、うれしいことがあります。ホームに会員の古堅芳子さんが入所してきたことです。古堅さんは旧知の方で、顔を見るなり再会を喜びました。

ホームでの生活は毎日も目いっぱいダイケアに通っていて、社会と切り離されてしまう感じがします。だから古堅さんもここで新婦人しんぶんが読めることがうれしいときっそく配達をお願いしました。沖縄の歴史とたたかいをそのまま歩んできた二

当に見る目が広がったと思います。若い時には第4回国連世界女性会議(95年)に参加して自分たちが世界につながっている実感し、核兵器禁止条約ができた時は本当

に励まされました。いま、声を上げて実現している新婦人の姿が本当にうれしい。新婦人の仲間をふやして「老人ホームに班をつくりたい」と思っています。

うれしい時も、困った時も、地域や全国に仲間がいるって心強い。女性の生きづらさ、あまりにおかしい政治に声をあげる新婦人。会員募集中です。あなたも入会して一緒にませんか。

新婦人に入ってよかった



▶いくつになっても社会とかかわりたい
左が神山さん、右が古堅さん

子育てが4歳になった時、石川県の七尾市に引っ越しました。「七尾には支部がないかも」と言われ、ああ、また前のようにつながりがない暮らしに戻るのかなと思っていました。七尾支部はあったんです。会員のおばちゃんを訪ねて来てくれて。ど

つながっていることが 救いです

石川・七尾支部 葛西晴子(44)



▲オンラインで娘といっしょに。
右が晴子さん

育休中、赤ちゃん小組に誘っていただいたのがきっかけで神奈川・横浜で入会しました。それまで、仕事と家の行き帰りで、仕事と家の行き帰りで、ただでまったく地域でのつながりがなく、知人もいない土地での初めての出産育児で、ゼロ歳の子どもやお母さんたちと交流し、悩みを共有できたことは心強くうれしかったです。

今年5月には次世代国会行動に参加しました。私はフリーランスで在宅仕事をしながら、ネットで国会の法案審議や気になる議員の質疑を聞くのが好きです。「議員へ届ける要請文を自分で書いてみて」と言われて初めて、自分の思いを国会議員に直接届けることができる、そういう機会が自分にもあることに驚きました。それなら自分の仕事に直結する「インボイス制度の見直しを求める」請願を書いて、当日手渡しして思いを伝えることができました。 <2面へ>

原発処理水の海洋放出に抗議



「原燃汚染水(A-LPS処理水)の海洋放出今すぐ止めろ」と、31日、首相官邸前行動(原燃をなくす全国連絡会、ふくしま復興共同センター主催)が行われ、福島県からも参加、新婦人福島県本部の代表が「県内各地で抗議の声をあげている」と発言、即時中止を訴えた。その後署名を提出。(関連記事2面)。

9月23日号は休刊です

